

# 連携協働通信「架け橋」

令和4年1月27日

横浜市教育委員会 学校支援・地域連携課 発行 NO. 23

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行しています。当課のWebサイトでもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chiikirenkei/gakkoushien.html>

## 地域学校協働活動事業活動調査結果について

日頃より、地域と学校の連携・協働にお取り組みいただきありがとうございます。

昨年11月に、地域学校協働活動事業の活動状況について各学校に調査をさせていただきました。公務ご多用の中、ご対応ありがとうございました。

調査した(1) 学校運営協議会についてと (2) 学校・地域コーディネーターについての結果をご報告いたします。

今回、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の全校から回答をいただいております。

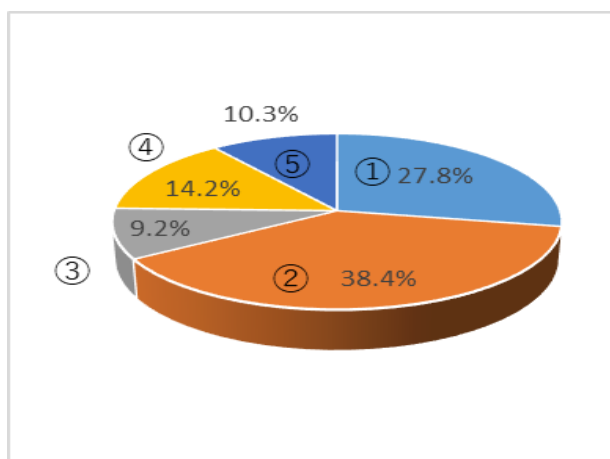
(1) 学校運営協議会について（現在293校が学校運営協議会を設置）

[1]

管理職以外で、地域連携を担当している教職員はいますか？

（いる 430校、いない 78校）

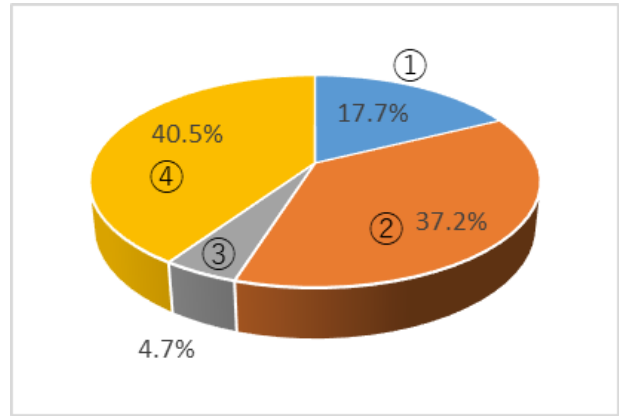
①教務主任	211校
②児童支援専任・生徒指導専任	291校
③①、②以外の主幹教諭	70校
④その他	108校
⑤地域連携担当はいない	78校



④「その他」には総合的な学習の時間の担当者、特別支援教育コーディネーター等と回答されました。

[2]

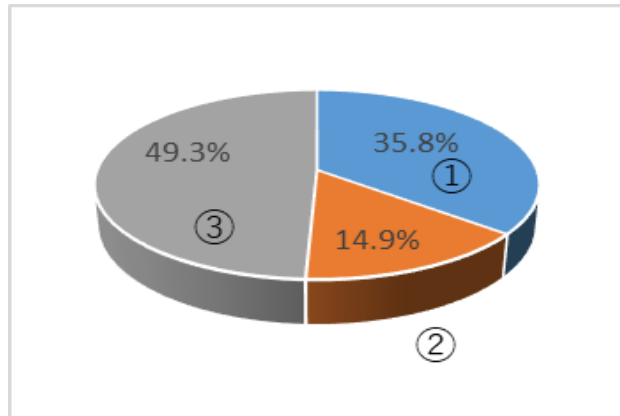
【学校運営協議会未設置校】 「まちとともに歩む学校づくり懇話会」（またはそれに準ずる会議）を昨年度、何回、開催しましたか？	
①1回	38校
②2回	80校
③3回以上	10校
④開催していない	87校



学校運営協議会未設置校においても、地域との連携を様々な形で行っていただいています。未開催の主な理由は新型コロナウイルスの感染防止によるものでした。

[3]

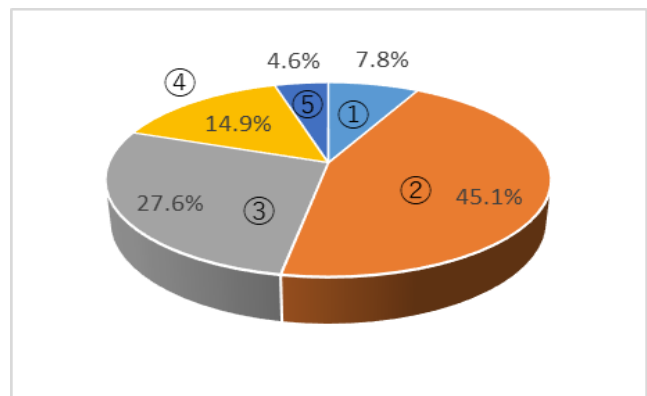
【学校運営協議会未設置校】 学校運営協議会の設置予定年度はいつごろですか？	
①令和4年4月	77校
②令和4年7月	32校
③令和4年10月	106校



各学校の状況や地域の実態にも違いがある中、地域との調整や連携を取りながら、各学校設置に向けての準備を進めていただいています。どうもありがとうございます。

[4]

【学校運営協議会未設置校】 学校運営協議会を設置していく上で、課題はなんですか？（2つまで回答可）	
①教職員、保護者、地域への周知	27校
②委員選出	157校
③地域との調整	96校
④近隣校との調整	52校
⑤その他	16校

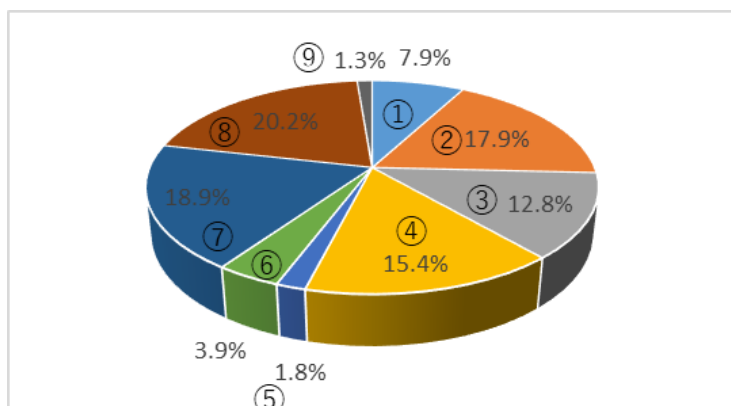


調査結果からみると、委員の選出や地域との調整を課題としてあげている学校が多いようです。⑤「その他」には、学区が2区にまたがり、地域との調整が難しいこと等があげられていました。引き続き、学校支援・地域連携課では個別相談を行っています。お困りのことがございましたらいつでも遠慮なくご相談ください。

(2) 学校・地域コーディネーターについて（現在370校が配置済み）

[1]

「学校・地域コーディネーター」がいることで、どのような成果があったと考えますか？ （3つまで回答可）【学校・地域コーディネーター配置校かつ活動校 336校が回答】			
①児童生徒の学習意欲や学力の向上	92校	⑥教職員の教材研究や子どもと向き合う時間の確保	46校
②児童生徒の様々な体験や経験の場の増加	210校	⑦円滑な学校運営や特色ある学校づくりの推進	221校
③児童生徒の地域への理解や関心の深まり	150校	⑧学校に対する地域の理解の深まり	236校
④児童生徒の安全・安心な環境の向上	180校	⑨その他	15校
⑤教職員の授業力・指導力の向上	21校		



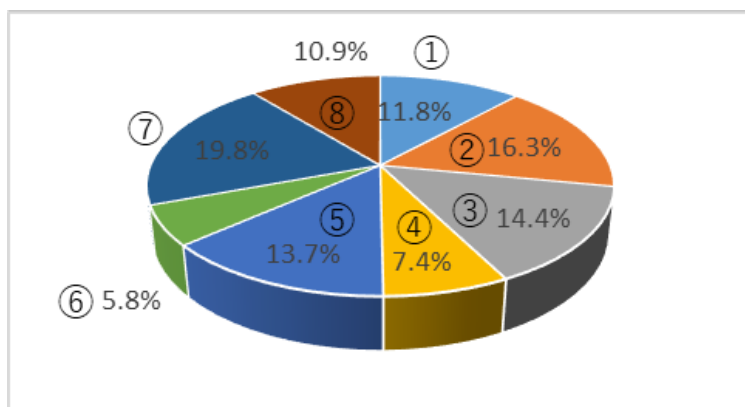
⑨「その他」には、

- ・学習ボランティア等の協力要請が円滑に進み放課後の学習教室が充実した。
- ・ボランティア活動が校内のみならず、地域でも進んだ。
- ・学校・地域コーディネーターが地域連携活動の相談役になっている。
- ・地域人材の掘り起こしに尽力いただいている など

各学校のニーズに応じて力を発揮していただいているということが回答されました

[2]

「学校・地域コーディネーター」が活動を進めていく上で、課題は何ですか？ (3つまで回答可) 【学校・地域コーディネーター配置校かつ活動校 336校が回答】			
①学校・地域コーディネーターが足りない	67校	⑤校内に学校・地域コーディネーターやボランティアの方が集まって相談できる場所がない	78校
②学校を支援してくれるボランティアが不足している	93校	⑥学校と学校・地域コーディネーターで、方針や目標が共有されていない	33校
③謝金等の予算が少ない	82校	⑦「学校・地域コーディネーター」の必要性や役割が、地域や保護者、教職員に周知されていない	113校
④予算が少ないため、活動内容や活動時間が限られてしまっている	42校	⑧その他	62校



学校・地域コーディネーターやボランティアの不足を課題と感じている学校が多いです。学校・地域コーディネーターやボランティアを増やすために今いる学校・地域コーディネーターやボランティアが5人とつながり、その5人が新たな5人とつながることを繰り返せば100人ともつながることができると言われています。また周知のために、学校便り

への掲載や、学校・地域コーディネーターの活動実績などをお便りとして出している学校もあるようです。

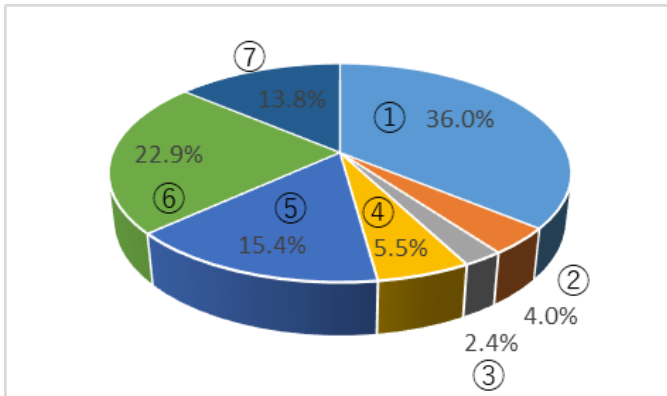
謝金等の予算が少ないという回答がありました。地域学校協働本部によってさまざまな活動を行っており、限られた予算の中で学校や地域に合わせた工夫で活動を進めていただいていることと思います。

また「学校・地域コーディネーター」の必要性や役割が、地域や保護者、教職員に周知されていないことがあるというご意見を多くいただきましたので、来年度の研修や本紙面の内容にも反映していきたいと考えています。

[3]

今後、「学校・地域コーディネーター」を配置するにあたっての課題は何ですか？  
(3つまで回答可)

①「学校・地域コーディネーター」にふさわしい人材が見つからない	91校	⑤「学校・地域コーディネーター」の必要性や役割を、教職員が十分に理解していない	39校
②謝金等の予算が少ない	10校	⑥「学校・地域コーディネーター」の必要性や役割が、地域の方に周知されていない	58校
③予算が少ないため、活動内容や活動時間が限られてしまっている	6校	⑦その他	35校
④校内に学校・地域コーディネーターが集まって相談できる場所がない	14校		



⑦「その他」には学校と学校・地域コーディネーターが方向性を一致させること等、様々な課題があがっています。

**令和4年度末までに、学校・地域コーディネーターを配置するために養成講座を受講できるチャンスはあと1回のみです。**

地域学校協働本部の全校設置も令和4年度末までを目標としています。地域学校協働本部の設置には、学校・地域コーディネーターを配置することが必要となります。学校・地域コーディネーターの配置には、校長先生から推薦を受けた方が養成講座を受講しなくてはなりません。令和4年度の受講に向けた学校・地域コーディネーターの推薦をよろしくお願いいたします。受講者の推薦は、年度明けの4月にご案内をいたします。学校・地域コーディネーターは学校と地域を結ぶ大切な存在であり、学校にとって信頼のおける人が望ましいと考えています。

※ なお、学校・地域コーディネーター養成講座は、令和5年度以降も引き続き行います。

**何かお困りなことがありましたら、いつでもご相談ください。**  
**学校支援・地域連携課 671-3278**